

令和4年度小学校における外国語教育指導者養成研修 実施要項

1 目的

小学校の外国語教育を担当する教諭及び、指導主事等が、学習指導要領における外国語活動及び外国語科の実施に向けた推進方策について理解を深めるとともに、教員の外国語教育を円滑に進めるための方策等を総合的に習得する。加えて、上記の受講者が、1) 小学校における外国語教育の改善に専門的知見を活用し、組織的な取組を推進する力、2) 学校や地域の教職員がもつ小学校における外国語教育に関する専門性の向上を推進する力、を習得できるようにする。

2 主催 独立行政法人教職員支援機構

3 共催 文部科学省

4 期間 受講者は、令和4年8月1日(月)から令和4年8月31日(水)までの期間中、任意の3日間を選択して受講する。

5 実施方法 学習管理システムを用いたオンライン研修

6 配信元 独立行政法人教職員支援機構 つくば本部
〒305-0802 茨城県つくば市立原3番地

7 標準定員 200名 ※標準定員は設定しているが、推薦人数に上限は設けない。

8 受講者

(1) 受講資格

- ① 都道府県・指定都市・中核市教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担等主事並びにこれに準じる者
 - ② 小学校及び特別支援学校、中学校外国語科の教諭等であって、各地域において本研修内容を踏まえた研修の講師及び、小学校における外国語教育推進の指導者としての活動を行う者
 - ③ 当機構の修了証書をもって単位認定を行う(予定を含む)教職大学院の学生
- ※「第5次男女共同参画基本計画」(令和2年12月25日閣議決定)を踏まえて、本研修における女性教職員の割合を25%以上とすることを、当機構として目標としている。女性の積極的な推薦について御配慮願いたい。

(2) 推薦人数

各都道府県・指定都市・中核都市等ごとの推薦人数に、制限は設けない。

(3) 推薦手続

推薦期限は、令和4年7月15日(金)とする。

各都道府県・指定都市教育委員会、都道府県知事部局、国公立大学法人、独立行政法人国立青少年教育振興機構及び教職大学院を置く各大学においては、「研修情報登録システム」により推薦を行う。

中核市教育委員会においては、[様式1]により都道府県教育委員会に連絡し、都道府県教育委員会が「研修情報登録システム」により推薦を行う。

(4) 受講者の決定

各都道府県・指定都市教育委員会等からの推薦に基づき、教職員支援機構が決定し通知する。

9 研修内容

学習指導要領における、小学校外国語教育の現状と課題を講義や演習を通して理解した上で、今後の小学校における外国語教育の方向性を踏まえた知識や指導法等を総合的に習得する。

日程案は別紙1のとおりとし、受講者は研修終了後に「課題レポート」を提出する。なお、「課題レポート」の様式、提出方法等については、受講決定時に別途連絡する。

10 事前課題等

(1) 研修成果活用計画書の作成

受講者および所属長は事前に「研修成果活用計画書」を作成し、提出すること。

なお、様式、提出方法等については、受講者決定時に別途連絡する。

(2) その他の事前課題

その他の事前課題がある場合は、受講者決定時に別途連絡する。

11 研修成果の活用

本研修は、受講者の研修成果を各学校や地域で活用することを前提としている。そのため、研修終了後1年程度の期間を経た後に、研修成果の活用状況（研修企画、研修講師、他校訪問等）についてのアンケート調査を実施する。推薦者は、研修修了者に対し、研修成果を効果的に活用する機会の提供、確保等の配慮をすること。

12 その他

(1) すべての講義を受講し、「課題レポート」を提出した受講者には、修了証書を授与する。受講者推薦の際に、必ず受講者の氏名を確認し、正確に記入すること。

(2) 本研修は、学習管理システム「学びばこ」((株)テクノカルチャー)を利用して研修を配信するものである。なお、「学びばこ」は専用のソフトウェアやアプリをダウンロードする必要がなく、対応するブラウザであればスマートフォン等の端末からも受講可能である。

(3) システム上は時間・場所を問わずに受講可能であるが、受講者が研修に専念できるよう、推薦者には適切な受講環境及び研修時間の確保等、特段の配慮をお願いする。

(4) 本研修の受講に際し、特別な配慮が必要な者（障害、持病等）を推薦する場合には、事前に当機構に相談すること。

令和4年度小学校における外国語教育指導者養成研修(Cタイプ) 日程表

9:00		16:00								
開講にあたって	(第1講) 講義・演習			昼 休 憩	(第2講) 講義・演習					
	学習指導要領における外国語活動・外国語科のポイント ～外国語教育の現状とこれから～				授業動画 視聴の 視点		中学年外国語活動の授業(授業動画) 第3学年 Unit 8 What's this? 4時間中 第1時	授業分析 “英語に初めて触れる”外国語活動 指導のポイント		
全体	リフレク ション	言語活動	リフレク ション	言語活動を 通して	リフレク ション	リフレク ション	リフレク ション			
(第3講) 講義・演習				昼 休 憩	(第4講) 講義・演習					
授業動画 視聴の 視点	高学年外国語科の授業(授業動画) 第6学年 Unit 3 Let's go to Italy 7時間中 第1時		授業分析 中学校へ「つなぐ」外国語科 指導のポイント		外国語教育を円滑に進める指導力向上のための方策 ～指導と評価の一体化・CAN-DOリスト形式の学習到達目標の設定と活用～					
		リフレク ション		リフレク ション	指導と評価の 一体化	リフレク ション	学習評価・ 単元づくり	リフレク ション	CAN-DOリスト形式 の学習到達目標の 設定と活用	リフレク ション
(第5講) 講義			(第6講) 講義		昼 休 憩	(第7講) 講義		(第8講) 講義・演習		閉 講 に あ た っ て
GIGAスクール構想のもとでの1人1台端末 の効果的な活用			外国語教育における1人1台端末及び デジタル教科書の効果的な活用			外国語教育を推進する 指導者として		研修成果の活用に向けて -研修プランの作成-		
		リフレク ション		リフレク ション		リフレク ション		リフレク ション		

講義内容については、資料1をご覧ください。

午前・午後、それぞれ合計150分程度を想定しています。(「開講にあたって」および「閉講にあたって」を除く。)

オンライン研修における学びの充実の観点から、基本的には講義の途中に演習(リフレクション)を挟む形で構成しています。

令和4年度小学校における外国語教育指導者養成研修 講義内容

<p>第1講：講義・演習 学習指導要領における外国語活動・外国語科のポイント ～外国語教育の現状とこれから～</p>
<p>【全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R3「英語教育実施状況調査」をもとに小中高の英語教育の現状を解説し、成果と課題及びその方途について考えていただく機会とします。 <p>【言語活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動について、学習指導要領やその解説をもとに確認をするとともに、全国の実践からその具体を学びます。 <p>【言語活動を通して】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「言語活動を通して」指導するとは、具体的にどのようなことかを実際の授業から学びます。
<p>第2講：講義・演習 授業動画視聴の視点 中学年外国語活動の授業（動画視聴） 授業分析 “英語に初めて触れる” 外国語活動 指導のポイント</p>
<p>授業動画：第3学年 Unit 8 What's this? 4時間中 第1時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぜひ記録をとりながらご視聴ください。「授業分析」でそれをもとに振り返ります。 ・授業分析では、「視聴の視点」に沿って授業を振り返ります。
<p>第3講：講義・演習 授業動画視聴の視点 高学年外国語科の授業（動画視聴） 授業分析 中学校へ「つなぐ」外国語科指導のポイント</p>
<p>授業動画：第6学年 Unit 3 Let's go to Italy 7時間中 第1時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぜひ記録をとりながらご視聴ください。「授業分析」でそれをもとに振り返ります。 ・授業分析では、「視聴の視点」に沿って授業を振り返ります。
<p>第4講：講義・演習 外国語教育を円滑に進める指導力向上のための方策 ～指導と評価の一体化・CAN-DO リスト形式の学習到達目標の設定と活用～</p>
<p>【指導と評価の一体化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際の指導案をもとに「指導と評価の一体化」とはどのようなことかを考えます。 <p>【学習評価・単元づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習評価参考事例」をもとに学習評価の三観点の趣旨を確認するとともに、実際の授業から「言語活動を通して」指導する単元づくりを学びます。 <p>【CAN-DO リスト形式の学習到達目標の設定と活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CAN-DO リスト形式の学習到達目標の設定の必要性、その設定の仕方や、実際の高学年におけるパフォーマンス評価の具体を例に挙げてその活用のあり方について学びます。

第5講：講義

GIGA スクール構想のもとでの1人1台端末の効果的な活用

- ・ GIGA スクール構想の背景と推進のポイントや、HP 上の教材を使いながら端末を用いた基本的な研修の在り方、進め方について学びます。

第6講：講義

外国語教育における1人1台端末及びデジタル教科書の効果的な活用

- ・ 一人一台端末の特色やデジタル教科書の良さを生かした具体例をもとに、その活用の在り方について学びます。

第7講：講義

外国語教育を推進する指導者として

- ・ 校内や地域で外国語教育を推進する指導者として求められる資質・能力について確認するとともに、指導助言をする際のポイントについて考えます。

第8講：講義・演習

研修成果の活用に向けて -研修プランの作成-

- ・ 研修を通して学んだことを整理し、研修講師として必要な知識や技術などについて理解を深めていきます。研修成果の活用として、具体的な研修計画を作成します。